

災害に強いまちづくり



【当知学区】

■世帯数：3,882 世帯

■人 口：9,579 人

■面 積：1.297k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 地震や津波などの災害時の避難場所がすぐわかるように、各家庭に避難場所を明示したシールを配り、家の中の目につく場所に貼る活動。
- ・ 費用は町内会ごとの負担。
- ・ 避難場所が決まった町内会からシールを各家庭に配布する。

【住民へのPR 方法】

チラシの回覧

【アピールポイント】

いざ避難する時にあわてないために！

2 きっかけ、背景

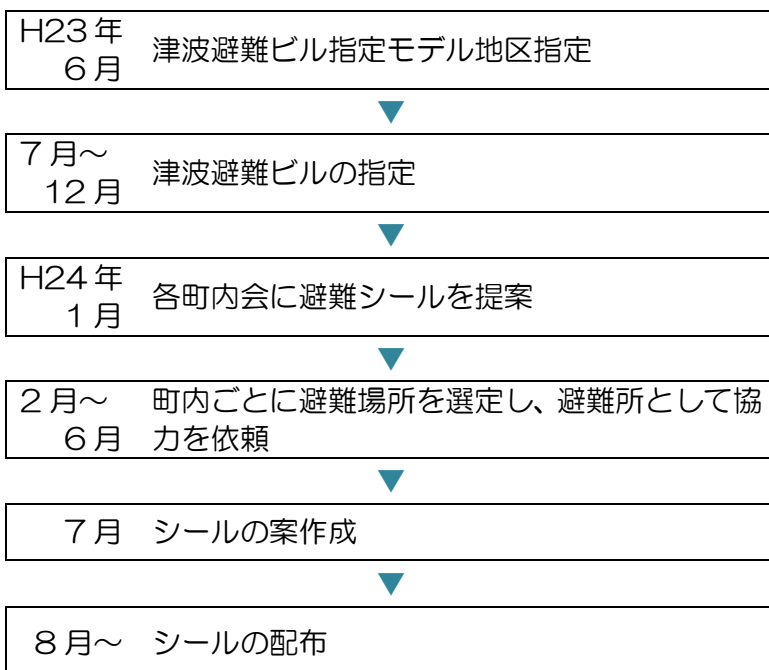
平成 23 年 6 月に港区が津波避難ビル指定モデル地区に指定され、津波避難ビルとして協力してくれる施設を依頼すると同時に、町内会ごとに避難する場所を選定する必要と各家庭に避難場所を明示する必要があった。

3 実施の体制

運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、民生委員児童委員、保健委員、消防団員、PTA、女性団体・女性会、子ども会、老人クラブ、スポーツ推進委員
計約 30 人

4 実施のスケジュール



5 成果と課題

(1) 成果・効果

住民の防災に対する意識が高まった。

(2) 苦労した点

避難場所の選定、避難施設の協力を得ること、町内会の負担などについて住民の理解を得ることに苦労した。

(3) 今後の課題・展望

活動の継続が今後の課題。